

SHIN CLUB 306

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



今月のトーク/monthly talk

「KRK ビル」 撮影：アック東京

伊太利を感じる直線と曲線

写真は、7月に竣工いたしました「KRK ビル」です。

千葉県木更津市の広大な土地にある、農業と食、アートと豊かな自然が溢れるサステナブルファーム&パーク「クルックフィールズ」。その施設内には、平飼いされた動物たちや有機野菜をはじめとする有機農業、酪農や養鶏、収穫した農産物を使用した商品を販売するショップ、レストランのほか、現代アートの展示、宿泊施設も備えた、自然を直に体感、触れ合うことができる特別な場所です。なかでも食への想いは強く、「人と自然との繋がり」から生まれる自然界の循環や、昨今の食への課題に目を向け解決する大切さ、「美味しい食の輪」を発信しています。

その想いはやがて大きくなり、木更津市だけでなく都市から日本へ、さらに世界へ届けたいと変化。そしてこの度、その重要な拠点として選ばれた都市が南青山でした。洗練された街並みと高級感、そしてファッションや文化の発信地としての特徴を持つこの土地に、世界へ発信するための拠点計画を任された、MMAAAの本橋良介氏は、厳しい敷地条件を逆手に取り、計画を進められました。

「以前二軒隣で設計を手掛けていたことがきっかけで、不動産仲介会社さん経由で『この土地に建物を建設できるか』とご相談をいただきました。前面道路幅が非常に狭い土地でしたので、ヒヤリングからライフイメージの模型を製作し、建築イメージが具現化できたことで本格的に計画がスタートしました。1、2階はコンセプトレス

トラン、3階から5階はテナントフロアになるのですが、用途地域と道の狭さも相まって周辺に高い建造物が建ちづらいということで、上層階へ上がるにつれ開放的な計画としました。最上階からは東京タワーや六本木ヒルズなど、都心の街並みが眺望できるのです。これはこの敷地の非常に高いポテンシャルだと思います」と本橋良介氏。

直線で構成された建物本体と、曲線で構成された共用階段とのコントラストが美しい「KRK ビル」。敢えて建物の建築面積を小さくし、道路からセットバックすることで、1階レストランの前庭を広くとっています。そこには、「クルックフィールズ」の自然との繋がりとのコンセプトレストランとしての関係性が表現されています。

「面積いっぱいにとって席数を増やすより、レストランのコンセプトに合った適正サイズが望ましいというご要望でしたので、建物をセットバックし、1階前庭のヴォイドを広くとりました。また、「クルックフィールズ」は自然との関係性が重要な要素ですので、外部空間との接続を意識しています。現在内装工事が始まっていますが、植栽なども含めその自然を感じるヴォイドを活かしたいと思っています」（本橋氏）

「美味しい食の輪」を世界へ届ける拠点として、最先端と歴史が融合したエリアである東京・南青山に完成した「KRK ビル」。食を通じ、未来へとつながっていくサステナブルな力を、この都市から発信していきます。

KRK ビル（南青山のビル & レストラン）



建物全景。直線と曲線が対比的に美しく見える



建物夕景。薄くしたスラブの軽やかさが際立つ



曲線が美しい共用螺旋階段

光の回廊と視線が抜けるテナントビル

建て主の要望である「適正サイズ」を叶え、シンプルであるがコンセプトレストランとしての「器」に相応しい建物になるよう計画をおこなった。

基本計画段階では、もっと複雑なプランを計画していたが、テナントビルとしての用途を考慮しシンプルな平面形状を採用。それにより、建物の大枠の形は確定した状態となったが、階段周りが前面に出てくる点に着目し、直線の四角い建物部分と曲線の階段部分を対比的に組み合わせ、互いが独立して見えるように意識した。

建物部分は柱・梁のメンバーを揃えた無柱空間とした。階段には柱を落としたくなかったので片持ちとして、先端にテーパーをかけて薄くすることで、三次元的曲面が現れる現在の螺旋階段となった。

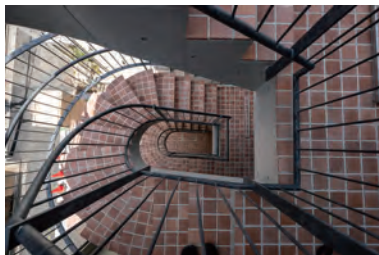
上層階にいくにつれ開口部を多く取ることが可能なため、風や視線が抜けるよう開口部分を大きくとった。

見晴らしがよく、都心の風景が一望でき、また内部に光が回ることによって開放感と気分も高揚する。利用者にとって特別なテナントスペースになるだろう。

コンセプトレストランの床タイルは scara のレンガタイルを採用。自然な風合いと螺旋階段が雰囲気を出し「器」としての役割を果たす。内装工事にも同じタイルを使用予定だ。

螺旋階段、室内ともに光が回り、風が気持ちよく抜ける「KRK ビル」。レストランは今秋オープン予定で、そこから多くの人々に「クルックフィールズ」の想いが届くことだろう。

(MMAAA / 本橋良介氏 談)



共用螺旋階段



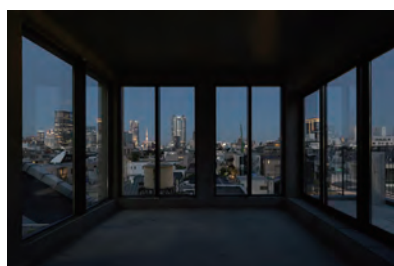
4 階テナントスペース



5 階バルコニー



開放感溢れる 5 階テナントスペース



5 階の夕景。都心の夜景が一望できる

構造：RC 造
規模：地上 5 階
用途：飲食店・事務所
設計：MMAAA 一級建築士事務所 / 本橋良介 + 三木達郎
竣工：2025 年 7 月
施工担当：上田・齋藤（歩） / 尾内チーム
撮影：アック東京

Ryosuke Motohashi



今月は、KRK ビルの設計者で MMAAA の共同主宰 本橋良介氏にお話を伺いました。

進路を決める際にたまたま飛び込んだという建築の世界。在学中にフランスへ留学したことをきっかけに、日本とフランスの建築に対する考え方やカルチャーの違いを知り、大学院卒業後、再びフランスへ。帰国後は大学院時代の同級生であった三木達郎氏と共同で MMAAA 一級建築士事務所を主宰しながら大学で兼任講師として、学生たちに「当たり前の感覚」がいかに大切かを伝えています。

ー建築学科に進まれたきっかけは。

本橋：理系分野が得意だったので数多ある理系職の候補のなかからいろいろ考えたのですが、興味をそえられるものがあまりありませんでした。唯一デザインや美術は好きでしたので、両方を兼ね備えている建築・建設系に進むことに。大学へ入学し、建築を学んでいくととても興味深く、より知りたいと思うようになりましたね。当時バックパックが流行っていて、長期休みの度にヨーロッパへ行っていたんです。そんななか留学の時期になり、留学先を選ぶ際、「今更英語圏に行ってもなあ」や「食べ物が美味しいところが良いなあ」などの理由から、結局フランスへ。ビールよりワインにそられた結果です（笑）。またフランスの文化や美術などにも興味があったので、シンパシーを感じたのも決め手の1つでした。

ーそうだったんですね。その後パリでアトリエを開かれています、やはりそのシンパシーの部分が大きかったのでしょうか。

本橋：大学博士課程のときに、教授のもと学内の施設建設に携わりました。そこで日本の建築の流れを学ぶことができたのですが、竣工した後これから何をしようかと考えたとき、「もう1度違うカルチャー・バックグラウンドで学びたい」という想いが湧き、行くなら今しかないと思って、再びフランスに行きました。

ー日本との違いはどのようなものでしたか。

本橋：フランスではとにかく新築の建物が建たないんですよ。古いものに価値があるという考え方なので、建物を改修したり修繕したりがほとんどです。ですが、設計者の人生を超えてその建築物が残り続けるというのはすごいことですし、その考え方も良いなと思います。そのため、日本に比べてフランスでは「建築家」という職業は地位が高く尊敬される、いわゆる士業なんです。それゆえ街を造るという観点から、造るものに対する責任感や周囲からの期待が大きいのです。その感覚が日本と違うところかと思います。なので、結果フランスに行ってよかったです。相対的に考えることができるようになったので。

ー建物を計画するにあたって、意識していることなどはありますか。

本橋：建物にネーミングを付ける際、「何処の何々」とするようにしています。計画地の場所や環境が名前に入ることで、その街の雰囲気や環境がイメージできますよね。隣地や境界など、現在の環境とともに歴史的な時間軸での環境を含めてどういった成り立ちかと

いうのを、設計段階でよく考えています。それに建物の用途を重ねると僕ら的に自然と建築が現われる。「場所」と「用途」を大切に設計しています。

ー大学で教鞭を取られていますが、こういったことを学生に伝えていますか。

本橋：「当たり前の感覚」が重要である、とよく伝えています。例えば図面上は窓が1か所あるけれど、それだと風が抜けない。そこにもう1つ窓があると風が抜け、身体的にも気持ち良いですよね。そういった当たり前のことを抽象的に図面化させると、割と気付かなくなるんですよ。そこをしっかりと気が付けるように、ということです。建設会社さんはものを造りますが、僕らはものを造るための図面を引いていて、それがそのままリアルになってしまうので、その抽象的な部分を具体的なところまで見据えて描かなければならないのです。ゴールを想像し、その軌道上で図面を描く。そのレベルでないと「当たり前の感覚」を身に着けるのは結構難しいです。加えて計画地周りの環境があるのでそれも配慮しなければなりません。建物がこちら面に隣接しているからこっち側に窓を付けよう、とか。言われてみれば当たり前。でも言われるまで気が付かない。その「気付き」を重ねられるような感覚を磨くのが重要なと思います。自分の描いている線の意味がちゃんと理解できるようになるのが大切だと思います。

ー普段何気ない「当たり前」は磨かれた経験の上に成り立っていたのですね。大変興味深いです。本日はありがとうございました。

本橋 良介（もとはし りょうすけ）

1981年 大阪生まれ
2003年 東京工業大学工学部建築学科 卒業
2003～ パリ・ラヴィレット建築大学 留学
2004年
2006年 東京工業大学理工学研究科建築学専攻 修士課程 修了
2009年 東京工業大学理工学研究科建築学専攻 博士課程 満期退学
2010年 DGT Architectes (パリ)
2011年 IHA FRANCE (パリ)
2012～ Morville Motohashi Architectes(パリ) 共同主宰
2013年
2017年 MMAAA 共同主宰
2022年～明治大学兼任講師
2023年～東京都建築士事務所協会世田谷支部 支部長

<https://www.mmaaa.jp/>



TOPICS/INFORMATION

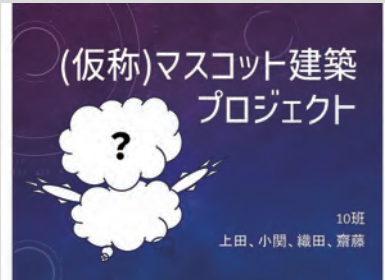
「2025 年 社内イノベーション大会」が開催されました 2025 年 8 月 2 日（土）

毎年恒例の社内「イノベーション大会」が今年も開催されました。「全社員の創意工夫で、より良い会社を目指そう」をコンセプトに、チーム分けされた社員がプレゼンテーションをおこなう社内イベントです。

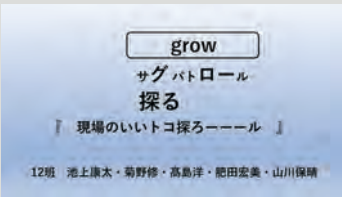
今年のチームの部のテーマは「grow」。
実施結果、成果、効果として会社の業績 UP や成長発展につながる内容ということで、今までになかったユニークなプレゼン内容が多く見られました。

各チームの持ち時間は 5 分間。次の 8 項目について審査員が 100 点満点で採点します。

- ＜イノベーションについて＞
- ①実現性・具体性／ 20 点満点
 - ②オリジナリティ・画期的／ 20 点満点
 - ③向上心・情熱・革新的／ 20 点満点
- ＜プレゼンテーションについて＞
- ④発表内容の分かりやすさ／ 8 点満点
 - ⑤テーマとの一致性／ 8 点満点
 - ⑥時間・話すスピード／ 8 点満点
 - ⑦発表資料・手元資料の分かりやすさ／ 8 点満点
 - ⑧チームワーク／ 8 点満点



なかで、弊社に足りないモノ。それは、マスコットを起用したイメージ戦略です。熊本県といえば「くまモン」、夢の国といえば「ミッキーマウス」、辰といえば「しん造ちゃん」。RC 造の妖精で、普通 30-18-20-N、空気量 4.8%、塩化物量 0.03 kg / m³ で配合された建築屋らしいマスコットキャラクターの提案です。



■ 1 位
「(仮称) マスコット建築プロジェクト」

「こだわり建築」を建て続ける弊社。施工分野で日本一を目指している背景には、その先、世界進出も視野に入れています。

そのような大きな未来を想像する



「しん造ちゃん」©辰

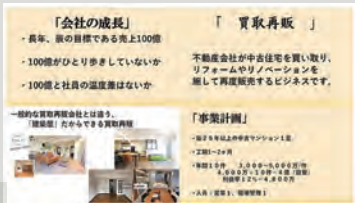
■ 2 位
「現場のいいトコ探ろール」

日々おこなわれる安全パトロール。その際見つけた良いところや素晴らしい点を評価し、現場のモチベーションを向上させる新しい規則の提案です。

各チームも自分のチーム以外の採点を審査員と同じ項目で 50 点満点で採点。審査の結果、次のようになりました。

- ＜チームの部＞
- 1 位：「(仮称) マスコット建築プロジェクト」* 賞金 ¥ 100,000-
10 班（齋藤藍子・織田和明・上田智也・小関敏夫）
合計得点 851 点
 - 2 位：「現場のいいトコ探ろール」* 賞金 ¥ 60,000-
12 班（肥田宏美・池上康太・菊野修・高島洋・山川保晴）
合計得点 840 点
 - 3 位：「会社の成長」* 賞金 ¥ 30,000
3 班（菅野心平・川上智哉・宮島利夫・笹原泰裕・郷格）
合計得点 821 点

- ＜個人の部＞
- 1 位：「高価買取」 * 賞金 ¥ 20,000-
菅野 心平
 - 2 位：「Eco Glow」 * 賞金 ¥ 10,000-
肥田 宏美
 - 3 位
「会社の成長」



社だからこそできる買取再販がきっとあります。新事業として発足させ、会社の規模拡大、技術向上を目的とした提案です。

入賞チームには代表の岩本より賞金が授与されました。採用された案は、社内改善委員会によって近年中に実行予定です。

日本一の建築会社となるための、大きな一歩となることでしょう。



【チームの部】
左から 3 班（川上）/ 10 班（織田）/ 12 班（池上）



【個人の部】
左から 2 位：肥田宏美 / 1 位：菅野心平

「神宮前 2 丁目プロジェクト」新築工事
上棟式 7 月 29 日（火）



天候に恵まれ無事に上棟することができました。12 月の竣工に向けて施工して参ります。

構造 / 規模：RC 造 / 地下 1 階・地上 3 階
用途：専用住宅
設計：小川晋一都市建築設計事務所
施工担当：鍋島 / 谷田チーム
竣工日：2025 年 12 月

「(仮称) MK 南青山」新築工事
安全祈願祭 8 月 27 日（水）



青山エリアにこだわりの詰まった共同住宅を建築します。

構造 / 規模：RC 造 / 地上 3 階
用途：共同住宅
設計：エコルファインアーツ合同会社
施工担当：田所 / 村山チーム
竣工日：2026 年 7 月

編集後記

・開催前からいろいろと話題になっていた 2025 年日本国際博覧会。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、未来社会における生き方や、それを支える持続可能な社会について、多くのパビリオンで体験・展示されています。閉幕まで 1 か月となりました。ご興味のある方は是非ご来場下さい。

(株)辰通信 Vol.306 発行日 2025 年 9 月 10 日
編集人：本間夏来/土屋祐一郎 発行人：岩本健寿
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-8-10 JS 渋谷ビル 5F TEL:03-3486-1570
FAX:03-3486-1450 E-mail: daihyo@esna.co.jp URL:http://www/esna.co.jp



「SHIN CLUB」は WEB 上でもご覧いただけます。
バックナンバーも PDF で掲載しています。
スマホはこちらから →

